



Cisco 3504 ワイヤレス コントローラ の概要

Cisco 3504 ワイヤレス コントローラは、中小企業およびブランチオフィスに一元化された制御、管理、トラブルシューティングを提供します。また、同じコントローラで次の展開モードをサポートする柔軟性を備えています。

- キャンパス環境向けの **Centralized** モード
- WAN で管理される小規模ブランチ向けの **Cisco FlexConnect** モード
- フルイーサネット ケーブルが利用できない展開向けのメッシュ（ブリッジ）モード

Cisco 3504 ワイヤレス コントローラは、シスコ ワイヤレス ソリューションのコンポーネントとして、Cisco Aironet アクセス ポイント、Cisco Prime Infrastructure、および Cisco モビリティ サービス エンジンの間のリアルタイム通信を提供します。Cisco 3504 ワイヤレス コントローラは、Cisco 5520 および 8540 ワイヤレス コントローラとの相互運用が可能です。

機能と利点の詳細については、『[Cisco 3504 Wireless Controller datasheet](#)』を参照してください。

図 1 : Cisco 3504 ワイヤレス コントローラ



- [Cisco 3504 ワイヤレス コントローラの機能の概要, 2 ページ](#)
- [プラットフォーム コンポーネント, 3 ページ](#)

Cisco 3504 ワイヤレス コントローラの機能の概要

表 1: Cisco 3504 ワイヤレス コントローラの機能

機能	説明
シャーシの高さ	1 ラックユニット (1RU)
スループット	4 Gbps (注) mGig ポートは 5 Gbps PHY レートに対応していますが、データプレーンパフォーマンスは 4 Gbps に制限されています
サポートされる AP の数	150
サポートされるクライアントの数	3000
プロセッサ	Cavium ネットワーク プロセッサ : CN7240-AAP、8 コア、1.5 GHz
メモリ オプション	<ul style="list-style-type: none"> • コントロール/データ プレーン メモリ : 8 GB DDR4 • ブートフラッシュ : 8 MB SPI NOR シリアルブート • バルク フラッシュ : 32 GB eMMC
冗長ポート、サービスポート	1 G Cu x 2
データポート	5 G/mGig Cu x 1、1 G Cu x 4 (802.3 at PSE が 2 ポート)
保管温度	-4 ~ 158 °F (-20 ~ 70 °C)
動作温度	32 ~ 104 °F (0 °C ~ 40 °C)
保管湿度	相対湿度 0 ~ 95 % (結露しないこと)
動作湿度	相対湿度 5 ~ 95 % (結露しないこと)
電源アダプタ	54VDC/1.05A、12VDC/3.75A

プラットフォーム コンポーネント

Cisco 3504 ワイヤレス コントローラ の前面パネル

図 2: Cisco 3504 ワイヤレス コントローラの前面パネル ビュー

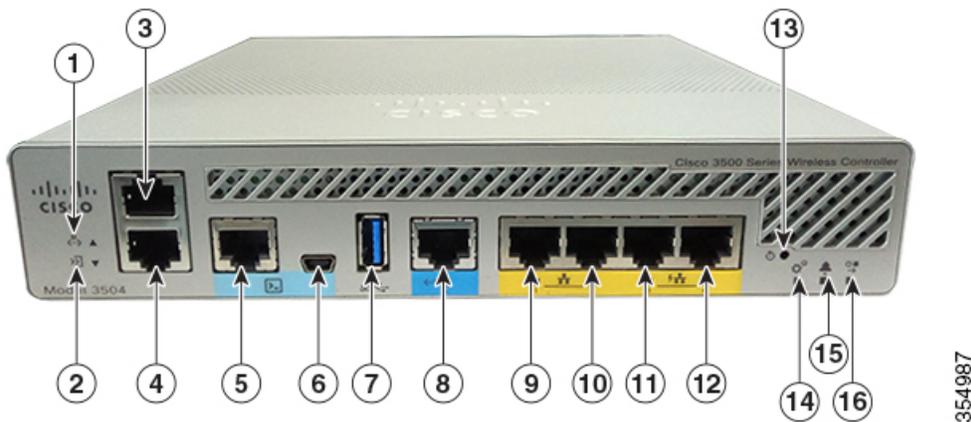


表 2: Cisco 3504 ワイヤレス コントローラの前面パネルのコンポーネント

1	サービス ポートの LED
2	冗長ポートの LED
3	帯域外管理用のサービス ポート (SP) (RJ-45)
4	冗長ポート (RP) (RJ-45) (注) 冗長ポートは、バックツーバックまたは L2 スイッチで接続できません。
5	CPU コンソールポート。RJ-45 コネクタをサポートする RS-232 ポートです。起動時に、コントローラは RS-232 ポートをコンソールポートとして設定します。デフォルト設定は 9600、N、8、1 です。ブートローダでは、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200 のボーレートがサポートされます。ただし、デフォルトのボーレトリカバリメカニズムは使用できません。ボーレートを設定する前にブートローダが、許可された値の 1 つと保存されたボーレートの設定が一致することを確認します。標準外の値が検出された場合、ボーレートはデフォルトの 9600 に設定されます。

6	<p>mini-B USB コンソールポート。すでに使用可能な転送モード (HTTP、TFTP、FTP、および SFTP) に加えて、ソフトウェア アップデートを実行するために使用できます。</p> <p>(注) mini-B USB コンソールポートを使用する場合、RJ-45 コネクタをサポートする CPU コンソールポートは無視されます。つまり、2つのポートのうち1つだけが常にアクティブになります。</p> <p>CPU コンソールポートと mini-B USB ポートの両方に接続する場合は、CPU コンソールポートが優先されます。</p>
7	<p>Type A USB 3.0 ポートは、すでに使用可能な転送モード (HTTP、TFTP、FTP、および SFTP) に加えて、ソフトウェア アップデートを実行するために使用できます。</p>
8	<p>5 G/mGig ポート x 1 個。1 G、2.5 G、5 G の速度に対応する mGig ポートです。</p> <p>(注) 高可用性環境では、設定済みのポート速度を変更することができません。</p>
9 および 10	<p>GigE ポート。</p> <p>ギガビットイーサネットポート 1 と 2 は、RJ-45 コネクタのフォームファクタです。これらのポートは、1500 VAC RMS のシャーシアースと 48V のイーサネットシグナルを分離 (802.3 仕様) するように設計されています。</p>
11 および 12	<p>GigE PoE PSE ポート。</p> <p>ギガビットイーサネットポート 3 と 4 は、802.3 at の PoE 対応 PSE ポートで、RJ-45 コネクタのフォームファクタを使用します。</p> <p>(注) ポートは、複数の AP マネージャまたはデータインターフェイスを使用して、赤外線スイッチの接続に使用できます。</p>
13	<p>リセット ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10 秒未満でリセット ボタンを押すと、コントローラがリセットされます。 • リセット ボタンを 10 秒以上長押しすると、コントローラが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。
14	<p>システム LED。システムの電源がオンになっているかどうかを判断します。</p>
15	<p>アラーム LED。ステータスまたはエラーが発生しているかどうかを判断します。ステータスまたはエラーは、コンソール画面に表示されます。</p>
16	<p>ハイ アベイラビリティ LED</p>



(注)

- アクセス ポイントをコントローラに再接続するときは、20 秒以上待ってから接続してください。待たずに接続すると、コントローラがデバイスを検出できないことがあります。
- ポートごとに AP マネージャ インターフェイスを構成することをお勧めします。
- AP 直接接続時の注意：AP がポートに接続されている場合は、物理ポート上でインターフェイスを構成しないでください。AP が接続されているポートでインターフェイスを構成すると、動作が定義されません。物理ポートが構成されている場合は、削除してからコントローラをリロードします。

高可用性シナリオでは、AP の直接接続はサポートされていません。

前面パネル LED：状態の定義

表 3：システム LED インジケータ

色	説明
消灯	システムは受電していません。
グリーンで点滅 	システム ブート
オレンジで点滅 	ブートローダがアクティブで、システム コンソールからのユーザの入力を待機しています。

表 4：アラーム LED インジケータ

色	説明
グリーンで点滅 	コントローラ イメージのアップグレード
オレンジ 	ファームウェアのアップグレードなど、コントローラ ステータスのアクティビティ
オレンジで点滅 	コントローラのエラーです。たとえば、温度エラーが発生しています。

表 5: ハイ アベイラビリティ LED インジケータ

色	説明
グリーンで点灯 	ピア コントローラとペアの HA ポート
グリーンでゆっくり点滅 	ペアリング/HA ホットスタンバイ
オレンジでゆっくり点滅 	(プライマリ/セカンダリ) の起動と HA コールドスタンバイ
オレンジで高速に点滅 	HA メンテナンス
オレンジで点灯 	ピア未検出
消灯	スタンバイ/HA 無効

Cisco 3504 ワイヤレスコントローラの背面パネル

図 3: Cisco 3504 ワイヤレスコントローラの背面パネルビュー



表 6 : Cisco 3504 ワイヤレス コントローラの背面パネルのコンポーネント

1	外部 115W、デュアル出力 54V/12VDC 電源アダプタ
2	Kensington セキュリティ スロット

